

入学時初年度納付資金貸付金
短期間の市税滞納に対しては
申込要件を緩和できないか

申込みができるよう
検討していく

赤野 秀二議員(共産) 保護者の貧困が教育の機会均等に影響を与え、貧困の連鎖を断ち切れない状況は大きな問題である。



今後、市税納付の分納や減免等の手続きがとられている方については、申込みができるよう検討していく。

75歳以上の高齢者の医療費
無料化の考えは

今後、医療費の大幅増が予想され
現在のところ、大変難しい

服部 ひとみ議員(共産) 高齢者の方から「お金の心配なくお医者さんにかかりたい」との声が多く寄せられている。高齢者が元気に社会参加をするためにも、医療費の無料化が求められていると思う。そのような中、日の出町では、75歳以上の高齢者に医療費全額助成を行っている。

世代間の負担公平と制度間の財政負担の明確化により持続可能な制度として、後期高齢者医療制度等が創設された。また、医療の高度化や少子高齢化に伴い、今後、医療費の大幅な増加が予想される。したがって、安定かつ健全な医療制度を運営する観点から、高齢者医療費の無料化は、現在のところ、大変難しいと考えている。

稲城・南山開発地への府中市民墓地計画の再考を求めます

常任委員会からの審査報告

総務委員会

第60号議案

平成20年度府中市競走事業特別会計歳入歳出決算の認定について

本決算の総額は、1053億4476万円。執行率97・8%、歳出1051億7600万4千円で、執行率97・6%となっている。歳入の主なもの、入場料収入、勝舟投票券の発売収入のほか、場外発売事業収入となっている。歳入は、競走開催費や場外発売事業費などで、競走事業運営調整基金の20年度末の残高は、29億9700万円となっている。質疑に対して、「勝舟投票券発売収入の見込みは、過去の実績、今後の推計、1日当たりの平均売上額や、レースの開催状況を勘案して算出している」、等の答弁があった。

委員から、「1人当たりの購買高は重要な指標と考える。今後、売上げについては、実態に即して見込んでもらいたい」、「場外発売日数の拡大については、鋭意努力をお願いしたい」等の要望・意見があった。

審査の結果、本案については、全員異議なく、認定すべきものと決定した。

文教委員会

第47号議案

府中市立保育所条例の一部を改正する条例

この議案は、市立三本木保育所の増築等工事の完了に伴い、現在、保育を行っている仮園舎から、元の場所へ移転することから、三本木保育所の所在地の変更を行うもの

内容として、「三本木保育所の位置を示している条項を、現在の仮園舎のある『府中市新町1丁目64番地の3』から、元の『府中市府中町3丁目23番地の1』に改める」等の説明があった。

質疑に対して、「仮園舎の利用については、私立保育園園長会から運営法人の推薦があり、今後は開始時期も含め、運営の細部についてその法人と協議していく」等の答弁があった。委員から、「引越し等が問題なく無事に終了するよう十分な対応をお願いする」との意見があった。

審査の結果、本案については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定した。

厚生経済委員会

第48号議案

府中市国民健康保険条例の一部を改正する条例

この議案は、出産育児一時金の支給額に係る暫定措置の実施に伴い、健康保険法施行令における出産育児一時金の金額が、39万円と改正されたことから、本市においても当該法令に準拠して見直すため、所要の改正を行うもの

質疑に対して、「引上げ分の財源については、2分の1の2万円を国が補助することとなった」、「今回の見直しは政令の改正によるため、被用者保険においても統一されると認識している」等の答弁があった。

委員から、「これまで市が独自に2万円を加算していた出産育児一時金は、先駆的な施策と理解しており、本案にも賛成する」、「支払いに2か月程度かかっていると聞くため、医療機関にも負担がかからないよう、支援をお願いしたい」等の要望・意見があった。

審査の結果、本案については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定した。

建設環境委員会

第62号議案

平成20年度府中市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

本決算の総額は、歳入が40億1421万8千円で執行率98・8%、歳出が40億750万1千円で執行率98・7%となっている。

歳入の主なもの、下水道使用料及び一般会計からの繰入金で、下水道使用料は現年度分が延べ147万1425件分、過年度分は1万6107件分となっている。歳出の主なもの、下水道費と公債費となっている。

質疑に対して、「下水道管理車購入費について、下水道管理車とは、立入り作業が禁じられている下水道管内部の点検に使用する自走式カメラで、以前は、業者から借り上げていたが、緊急性や費用の観点から、20年7月に購入した」、「現在、合流式下水道の改善や高度浄水処理の実施により、多摩川の水質向上に取り組んでいる」等の答弁があった。

審査の結果、本案については、全員異議なく、認定すべきものと決定した。

特別委員会からの中間報告

基地跡地対策特別委員会

調布基地跡地の病院用地について、国が、軽自動車検査協会多摩支所及び警視庁第七機動隊に当該地を処分するため、これらの事業者は近隣の自治会等に対し、事業内容等の説明を実施した。

都市整備用地における国家公務員宿舎整備計画に係るPFI入札広告について、国では、平成21年9月1日から公表しており、今後は、平成21月上旬を目途に、落札者の決定、落札者との基本協定締結を進めていきたいとしている。

府中基地跡地留保地の状況について、市では、国家公務員宿舎整備計画及び国立医薬品食品衛生研究所移転計画に係る諸課題の検討を行っている等の報告があり、これを了承した。

再開発対策特別委員会

府中駅南口A地区の現況に関して、市街地再開発準備組合では、通常総会が開催された。その中で、本組合設立に係る平成21年度スケジュール及び事業の全体スケジュールの見直し案が提案され、了承された。約9か月の延伸となるが、事業期間の短縮に向け努力していくとしている。

けやき並木周辺整備の状況に関して、宮西町地区の道路整備については、権利者との交渉が順調に進んでおり、市道4の14号の幅員を10mにする道路区域の変更がなされている。けやき並木通りの都からの移管については、21年10月1日付けで移管されるよう手続きを進めている等の報告があり、これを了承した。

鉄道対策特別委員会からの審査報告

南武線西府駅の利用状況について、開業約6か月後の調査では1日平均1万2600人の利用者数で、開業3か月後に比べ、100人の増となっている。

西府土地区画整理事業の現在の進捗率は約9割程度で、平成21年度においても、建物移転については、当初予定していた4棟すべての契約が完了し、区画道路等の工事についても、21年度予定している工事は年内にすべて完了する予定となっている。

京王線第二期高架化計画及び都市モノレール計画について、都では、都全域の視点で、他に優先すべき事業があることから、本市に関連する計画は長期的な課題としており、進捗よくは困難な状況となっている等の報告があり、これを了承した。